

今年の1月18日から22日にかけて、京都市サーチパークにて ISO/IEC JTC 1/SC 29/WG 11 (MPEG) 会合が開催されました。2002年12月淡路夢舞台での会合から約8年ぶりの日本招致で、前回より参加者減を予想していましたが、375名(うち、日本人93名)の出席で、淡路会合の365名(うち、日本人117名)を超えました。

京都会合までの約8年間、私自身、各国で開催された27回の会合に参加し、参加者側の立場で会合の様子を見てきましたが、会合の良し悪しの評価は、1位:無線LAN、2位:食べ物の充実、3位:アクセスではと思うようになりました。

京都会合を振り返りますと、3位のアクセスは、京都を選択した時点でクリアでした。

1位の無線LAN。前回の淡路会合は、有線LANから無線LANへの過渡期であり、今では日本国内でも、「無線LAN完備」という会議場が増えておりますが、当時は会場側も不慣れだったり、300名以上が同時にアクセスということ想定しておらず、会合前半はたびたびダウンしておりました。

その後の海外の会合でも、大学で開催される場合は安定しているのですが、ホテルの場合は、ダウンしたり、つながらない人がいたりトラブルが多かったです。会合中は、約300~350人が、各サブグループ、セッション、エディティングミーティングに散らばるので、連絡・文書のやりとりのために、メール、Web・FTPサーバにアクセスする必要があり、いったん、無線LANがダウンすると、作業効率低下、音信不通という事態になります。昨年の韓国、中国の会合では、会合の途中で、100万円くらいかけて補強したり、機器を総入れ替えしたりしていましたが、それだけ無線LANの安定提供というのは難しいということだと思います。

京都会合の場合は、既存の設備にプラスして、業務用機器を投入



してました。会合前日には、5台のノートパソコンを持って、どのPCでも問題ないか、すべての部屋で接続状況をチェックしました。このチェック時に、WEPキーなしのステルスモードは難しいということが分かり、急遽、WEPキー & SSIDに変更になりました。会合中は、全体会議時は多少遅くなりましたが、特に問題になるようなことはありませんでした。

2位の食べ物。会場でのコーヒープレイクに関しては、十分用意されていましたが、ホテルで、buffet・着席スタイルで行ったレセプションでは、瞬間にお料理がなくなりました。buffetの場合、料理は参加者の8掛けくらいと言われておりますが、それは日本人の感覚であり、外国の方が多い場合、1.5倍くらいしておかないといけないようです。

私があげた1~3位のほかにも、MPEGの場合、テスト機材の手配、多数あるグループ・セッションの部屋割、Facilities feeの徴収等、他の標準化グループの会議ではないようなことを考慮する必要があります。ですが、総合的にみまして、実行委員会の皆様のお蔭で、他国に引けを取らず、合格点だったのでは思っております。

(小倉由紀子/規格部門)



## 論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.51 No.7 (July 2010)

### 【一般論文】

■シミュレートドアニメーションプログラミングの温度並列化

松井勇樹 他

■データベースにおけるマルチプロセッサスケラビリティボトルネックの分析手法

堀川 隆

\*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note

### ■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

# 会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「拡張現実感 (AR)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ ツールキットの紹介がありました。特集に関連して、簡単なチュートリアルへのヒントがあるとよいと思いました。  
(匿名希望)

■ バーチャル・リアリティとも密接にかかわる領域であり、大変興味深く読みました。  
(水野光朗)

■ 基礎技術から入るよりも、むしろ最後の展望の2つの記事を前にし、現状をざっくりと俯瞰してから、要素技術や事例へと読み進められると、より理解が進むかと思いました。  
(高橋慈子)

■ 開発用ツールの紹介は役に立つと思った。ARは自分の研究とは直接関係ないが、記事を読んで、これらのツールをダウンロードして遊んでみたいという気持ちにさせられた。  
(廣田千明)

■ 見慣れない用語が説明なしに登場している箇所があり、専門用語なのか便宜上の表現なのか、よく分からないままだった。参考文献以外に、紹介されたソフトの名称がないなど少しモヤモヤした(具体的には、「基礎2:位置合わせ技術」の「自由度」という用語など)。  
(大垣憲俊)

■ AR情報も人間の網膜に上下反転した像として写り、それが離散的なニューロンパルスになって脳に行き、脳はそのパルスから映像を組み立てている。はたして我々は皆同じ映像を認識しているのだろうか。  
(馬目洋一)

■ ヒューマンインタフェースの分野は視覚的な楽しさがあったり非常にキャッチーだと思います。  
(菊川真理子)

■ ARに関する体系的な知識に触れられておりよかった。産業界への応用も進んでいるということで、アミューズメントへの応用は想像できたが、プラントの整備に应用されるとは…  
(忠鉢洋輔)

■ 「医療分野におけるARの活用 臨床情報と臨床現場の接点」について、医療情報学を模索している我々には、新たな

方向性が得られ、ゼミ学生にも好評であった。(皆月昭則)

■ 画像が多く興味深く読めたが、取り上げている技術、応用、展望をより体系的に理解できる説明があると良かった。また、難解で、理解しきれない記事があった。技術的な仔細は飛ばしても、ポイントを押さえて読める構成・流れになっているとありがたい。  
(匿名希望)

■ 「編集にあたって」において各記事のアウトラインが示されていましたが、文章だけの説明であったため、各記事の扱っている内容が少し把握しづらかったです。ARの研究領域マップのようなものを下地にして、各記事の扱っている内容を配置するなどして図化すると、各記事の位置付けが明確になり、分かりやすくなるのではないかと思います。また、ARの応用領域は応用1,4,5や展望4で触れられている事例のように、コンテンツ的な利用がなされている印象を持っていたので、応用2で触れられていた保守作業の作業補助といった、必要性の高いARの応用事例があることに感銘を受けました。  
(大竹杏奈)

■ ARについて、アマチュア向けの開発ツール情報から、プラント保守および医療現場といった専門的な補助ツールとしての適用例を知ることができ、ARの可能性の広さを感じた。  
(匿名希望)

■ ヘッドマウントディスプレイにおいて、近視、遠視の場合、どのような対応でクリアに見えるのか疑問に思った。(矢野博司)

道しるべ「医用画像を処理してみませんか？」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 医療の発展は急務である。特に早期発見が命を繋ぐがんなどは特にそう感じる。本記事で紹介された、体内の腫瘍を、肉体を切ることなく3Dで表示できるAR技術は素晴らしい。これら技術の発展とともに、「医療は人任せ」にしない私たちの努力も必要ではないかと思う。  
(匿名希望)

■ 医用画像処理による診断支援の概説、新規参入者用の勉強・研究に必要な豊富な資料の列挙とともに、この分野の必要性を述べており、非常に良い内容構成だと思います。  
(匿名希望)

■ 分かりやすい写真資料や図示によって、多くの初学者にも興味と関心がわいた記事であったと思う。  
(皆月昭則)

その他の記事に関しては、以下のような感想をお寄せいただきました。

■ 和田氏の「情報処理技術遺産 自働算盤」の記事は、ストーリーとして大変、面白く、学生たちにも読ませたい内容だと

感じました。コンピュータやデータ処理、インターネットの進化について、国内の技術者が語るエピソードは、ぜひ、今後も読んでみたいと思います。(高橋慈子)

■コラム「"見聞録 SIIT 2009」について、「この文面ではサインできない」「著作物と著作権」の記事は考えさせられるものがあつた。文学では、同じ文ではないのに、1文だけが似ているだけで訴えられる事例があつた。1つのことを展開していく研究では、いちいち引用などしてられない。通常の著作権とは別に取り扱いを考えるべきであろう。論文の配布、公開方法を限定するという考え方になるのではないだろうか。(小松久美子)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■今年の3月から貴会に入会したこと、また、この4月からモニタを引き受けさせていただいたこともあり、他学会のものも含め、今回、学会誌というものを初めて読みました。読んでみると興味深く参考になる記事ばかりでしたが、研究者に読まれることが想定されているためか、学部生の私が手に取った第一印象は「難しそう」でした。実際、私にとっては全体的に少し難しく、調べたり研究室の先輩方に分からないところを聞いたりしながら、なんとか読み進めていくといった具合でした。学生向けの記事やコーナーがあると若い人も手に取りやすく、また、そこから興味のあるほかの記事にも目を移すなどして、もっと読んでくれるようになるのではないかと思います。(大竹杏奈)

■取り上げてほしいテーマとして、省電力に関して、ソフトウェア的な取り組み、ハードウェア的な取り組みの2本立ての研究動向に興味がある。(忠鉢洋輔)

■特集はその分野の動向を一挙に把握でき、助かっている。ときには、地道に黙々と取り組まれているような研究にスポットライトをあててもいいのではないのでしょうか？(岩井真澄)

■電力、鉄道、水道、社会インフラとITの融合利用の具体例や、今後の技術的な展望を取り上げていただきたい。(宮入 勉)

■触覚インタフェースの利用価値や将来性について国内での取り組みについて紹介していただけないかと思っています。(匿名希望)

■ブレインマシンインタフェース等の特集を取り上げてほしい。脳科学研究とロボット研究は日本も進んでいるが、韓国、中国も追いつけている。ここで、世界の主要国の状況を把握しておく意義がある。(石澤隆範)

■「自然言語処理」の応用最前線を日本と欧米との比較というテーマで特集いただけるとありがたい。(人見憲司)

■アンケート方法が変わったようですね。これまでのアンケートについてモニタの声を集計したり、全体的な傾向を分析したものを出してみてもどうでしょうか。(阿南佳之)

【本欄担当 大月美佳、服部宏充／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
情報処理学会 会誌編集部  
E-mail:[editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375  
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!!



IPSIJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「人と共存するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-N.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/11-N.html</a>	11月30日(火)		
7月15日(木)～	第69回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	5月12日(水)	当日のみ	北海道大学工学部
7月16日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AVM69.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AVM69.html</a>			
7月15日(木)～	第27回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会	5月14日(金)	当日のみ	筑波大学
7月16日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/UBI27.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/UBI27.html</a>			
7月16日(金)	第10回インターネットと運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOT10.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOT10.html</a>	5月10日(月)	当日のみ	東京海洋大学 品川キャンパス
7月16日(金)	第139回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG139.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG139.html</a>	5月23日(日)	当日のみ	名城大学名駅 サテライト (MSAT)
7月19日(月)～	SAINT2010 The 10th Annual International Symposium on Applications and the Internet <a href="http://snowman.nagaokaut.ac.jp/SAINT/">http://snowman.nagaokaut.ac.jp/SAINT/</a>	1月31日(日)		韓国 ソウル
7月22日(木)～	第76回デジタルドキュメント研究発表会	5月21日(金)	当日のみ	岩手県立大学 アイーナキャンパス
7月23日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DD76.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DD76.html</a>			
7月22日(木)～	第197回自然言語処理研究発表会	6月1日(火)	当日のみ	東北大学 青葉山キャンパス
7月23日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/NL197.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/NL197.html</a>			
7月22日(木)～	第169回ソフトウェア工学研究発表会	6月6日(日)	当日のみ	北九州テレワークセンター
7月23日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SE169.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SE169.html</a>			
7月22日(木)～	第82回音声言語情報処理研究発表会		当日のみ	仙台 秋保温泉 緑水亭
7月24日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLP82.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLP82.html</a>			
7月26日(月)	連続セミナー 2010第2回「Web スケールとインターネットクラウド」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
7月28日(水)～	第22回バイオ情報学研究発表会	5月28日(金)	当日のみ	産総研臨海副都心 センター別館
7月29日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/BIO22.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/BIO22.html</a>			
7月28日(水)～	第86回音楽情報科学研究発表会	6月4日(金)	6月28日(月)	つくばグランドホテル
7月30日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MUS86.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MUS86.html</a>		当日のみ	
7月30日(金)～	第139回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	5月28日(金)	当日のみ	小浜温泉 伊勢屋旅館
7月31日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HCI139.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HCI139.html</a>			
7月31日(土)	第87回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CH87.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CH87.html</a>	6月14日(月)	当日のみ	皇學館大学
8月3日(火)	第32回システム評価研究発表会 (SWoPP 金沢2010) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EVA32.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EVA32.html</a>	4月23日(金)	当日のみ	金沢市文化ホール
8月3日(火)～	第182回計算機アーキテクチャ研究発表会 (SWoPP 金沢2010)	4月23日(金)	当日のみ	金沢市文化ホール
8月4日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ARC182.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ARC182.html</a>			
8月3日(火)～	第115回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 (SWoPP 金沢2010) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/OS115.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/OS115.html</a>	4月23日(金)	当日のみ	金沢市文化ホール
8月3日(火)～	第126回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 (SWoPP 金沢2010) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC126.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC126.html</a>	4月23日(金)	当日のみ	金沢市文化ホール
8月5日(木)	第150回データベースシステム・第99回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DBS150IFAT99.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DBS150IFAT99.html</a>	6月14日(月)	当日のみ	青山学院大学
8月5日(木)	第80回プログラミング研究発表会 (SWoPP 金沢2010) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO80.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO80.html</a>	4月23日(金)	当日のみ	金沢市文化ホール
8月9日(月)～	第18回組込みシステム研究発表会	6月18日(金)	当日のみ	公立はこだて未来大学
8月10日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EMB18.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EMB18.html</a>			
8月18日(水)～	情報教育シンポジウム 2010	5月16日(日)	定員になり次第	群馬県渋川市伊香保 (雨情の湯 森秋)
8月20日(金)	<a href="http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2010">http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2010</a>			香川大学
8月23日(月)～	第17回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	6月25日(金)	当日のみ	
8月24日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EC17.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/EC17.html</a>			
8月26日(木)～	平成22年度電気関係学会東北支部連合大会	6月11日(金)		八戸工業大学
8月27日(金)	<a href="http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/">http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/</a>			
8月30日(月)～	平成22年度電気関係学会東海支部連合大会	6月28日(月)		中部大学春日井 キャンパス
8月31日(火)	<a href="http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2010/index.html">http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2010/index.html</a>			
8月30日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2010 (SES2010)	4月30日(金)		東洋大学 白山キャンパス
9月1日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-SES2010.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-SES2010.html</a>			
9月2日(木)～	DA シンポジウム 2010 - システム LSI 設計技術と DA -	5月14日(金)	7月16日(金)	ホテル日航豊橋
9月3日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-DA2010.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-DA2010.html</a>			
9月2日(木)～	第2回教育学習支援情報システム研究発表会	7月2日(金)	当日のみ	徳島大学工学部 共通講義棟
9月3日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CLE2.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CLE2.html</a>			
9月2日(木)～	第55回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会	7月5日(月)	当日のみ	群馬大学 (桐生キャンパス)
9月3日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MBL55.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MBL55.html</a>			
9月2日(木)～	第70回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	7月9日(金)	当日のみ	長崎県勤労福祉会館
9月3日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AVM70.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AVM70.html</a>			
9月5日(日)～	第173回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	6月14日(月)	当日のみ	福岡大学
9月6日(月)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM173.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM173.html</a>			
9月7日(火)～	FIT2010 第9回情報科学技術フォーラム			九州大学伊都 キャンパス
9月9日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2010/index.html</a>			
9月8日(水)～	第140回グラフィクスとCAD研究発表会	6月24日(木)	参加申込は当日可, 宿泊申込め切は 8月5日(木) 17:00	リゾーピア熱海
9月9日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG140.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG140.html</a>			
9月10日(金)	連続セミナー 2010 第3回「企業向けクラウドサービスのビジネスインパクト」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月11日(土)～	平成22年度電気関係学会北陸支部連合大会	8月6日(金)		福井工業高等専門学校
9月12日(日)	<a href="http://jhes.fukui-nct.ac.jp">http://jhes.fukui-nct.ac.jp</a> (近日中に公開予定)			
9月13日(月)～	第113回情報システムと社会環境研究発表会	7月12日(月)	当日のみ	静岡産業大学
9月14日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IS113.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IS113.html</a>			磐田駅前学舎(静岡)
9月16日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2010	7月2日(金)		ナスパニューオータニ
9月17日(金)	(GN Workshop 2010)			
9月22日(水)	平成22年度関西支部支部大会	6月25日(金)		大阪大学中之島センター
9月24日(金)	第77回デジタルドキュメント研究発表会	7月21日(水)	当日可	筑波大学東京リエゾンオフィス
9月25日(土)	平成22年度電気関係学会四国支部連合大会	7月23日(金)		愛媛大学城北キャンパス
9月25日(土)～	平成22年度第63回電気関係学会九州支部連合大会	7月20日(火)		九州産業大学
9月26日(日)	<a href="http://www.jceee-kyushu.jp/">http://www.jceee-kyushu.jp/</a>			
10月2日(土)	情報処理北海道シンポジウム2010 Info-Hokkaido 2010 (発表申込締切は8月頃を予定)			北海道大学遠友学舎
10月2日(土)	第106回コンピュータと教育研究発表会	8月16日(月)	当日のみ	秋田大学
10月5日(火)～	第146回システムLSI設計技術研究発表会	7月16日(金)	当日のみ	幕張メッセ国際会議場
10月6日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM146.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM146.html</a>			
10月15日(金)	第11回インターネットと運用技術研究発表会		当日のみ	大阪市立大学
10月19日(火)	連続セミナー2010第4回「クラウドコンピューティング技術の肝(要素技術)」		定員になり次第	東京電機大学丹羽ホール
10月23日(土)	平成22年度(第61回)電気・情報関連学会中国支部連合大会	8月10日(火)		岡山県立大学(岡山県総社市)
10月27日(水)～	組込みシステムシンポジウム(ESS2010)	6月17日(木)		国立オリンピック記念青少年総合センター
10月29日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-ESS2010.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-ESS2010.html</a>			
10月30日(土)	第88回人文科学とコンピュータ研究発表会	8月23日(月)	当日のみ	国立国語研究所(東京都立川市)
11月4日(木)	第100回情報基礎とアクセス技術研究会		当日のみ	立命館大学エポック立命21
11月8日(月)	連続セミナー2010第5回「電子行政・社会基盤サービスを担うセキュアクラウド」		定員になり次第	東京電機大学丹羽ホール
11月20日(土)～	第107回コンピュータと教育研究発表会	10月4日(月)	当日のみ	香川大学
11月21日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html</a>			
11月22日(月)～	IWSEC2010International Workshop on Security			神戸国際会議場
11月24日(水)	<a href="http://www.iwsec.org/2010/">http://www.iwsec.org/2010/</a>			
11月29日(月)～	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2010)	7月16日(金)		大阪大学中之島センター
11月30日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2010">http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2010</a>			
12月1日(水)	第114回情報システムと社会環境研究発表会		当日のみ	東海大学高輪キャンパス
12月6日(月)	連続セミナー2010第6回「次世代クラウドコンピューティングに向けて」		定員になり次第	東京電機大学丹羽ホール
12月9日(木)	第3回教育学習支援情報システム研究発表会		当日のみ	京都大学
2011年				
	東海支部学生研究発表会助成	2月28日(月)		
	<a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>			
2月5日(土)～	第108回コンピュータと教育研究発表会	12月17日(金)	当日のみ	東京農工大学
2月6日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html</a>			
3月2日(水)～	第73回全国大会			東京工業大学大岡山キャンパス
3月4日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html</a>			
3月17日(木)～	第115回情報システムと社会環境研究発表会		当日のみ	専修大学神田キャンパス
3月18日(金)	<a href="http://ipsj-is.jp/">http://ipsj-is.jp/</a>			
3月19日(土)～	第109回コンピュータと教育研究発表会	1月31日(月)	当日のみ	神戸大学
3月20日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html</a>			
3月23日(水)～	The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011)			東京サピアタワー
3月25日(金)	<a href="http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/">http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/</a>			
2012年				
11月11日(日)～	ICPR2012第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日(木)	<a href="http://www.icpr2012.org/">http://www.icpr2012.org/</a>			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月14日 デジタルプラクティス「世界に飛び出す日本のソフトウェア」特集への論文投稿のご案内
- 6月11日 「コンピュータ将棋」VS「女流トッププロ棋士」公開対局決定!!
- 6月1日 新名誉会員 平成21年度 功績賞 論文賞 喜安記念業績賞 長尾真記念特別賞 のご紹介
- 6月1日 平成22年度通常総会報告 平成22年度役員名簿
- 5月28日 マイページの運用を開始します

# 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)  
賛助会員 (企業) 31,500 円 ( )  
賛助会員以外の企業 52,500 円 ( )  
\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

## \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■九州大学大学院数理学研究院

募集人員 准教授 1名  
所 属 数理学部門  
専門分野 計算数理論, 情報数理論, 統計数理論, 応用数学の分野  
着任時期 (予定) 平成22年10月1日以降のできるだけ早い時期  
提出書類 履歴書 (署名捺印のこと, 電話番号・E-mail等の連絡先を明記のこと), 研究業績リスト (論文, 著書, 講演リストを含む) および論文別刷等 (プレプリントを含む), その他予稿原稿など必要と思われる資料, 研究業績の説明・将来の研究計画・および教育に対する抱負, 応募者について問い合わせることができる方3名程度の氏名と連絡先およびそのうち少なくとも1名からの推薦状 (ただし, 推薦状に関しては応募書類とは別便で推薦者の方が下記提出先に応募期限までにお送りいただいても結構です。E-mailやファックスによる推薦状は受け付けません)  
応募締切 平成22年7月28日 (必着)  
送付先/照会先 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院数理学研究院 数理学部門准教授候補者選考委員会 高木 剛  
E-mail:takagi@math.kyushu-u.ac.jp 「数理学部門准教授応募書類在中」と朱書し簡易書留  
\* E-mailによる応募は受け付けません。また応募書類は原則として返却いたしません。返却を希望される方は, 返送先住所を記して切手を貼った返却用封筒を同封してください

その他 【任期】なし  
応募書類により取得する個人情報, 本人事案件にのみ利用いたします。九州大学大学院数理学研究院では男女雇用機会均等法の精神を尊重しています。採用者本人の希望により, 平成23年4月に設置予定の Institute of Mathematics for Industry (マス・フォア・インダストリ研究所: 略称 IMI) への移行が可能です  
詳細はWebページ (<http://www.math.kyushu-u.ac.jp/recruits/index>) をご覧ください

### ■九州大学大学院数理学研究院

募集人員 准教授 1名  
所 属 数理学部門  
専門分野 計算機科学, 数値解析, 情報数学, あるいはこれらに軸をおく先端数理学分野  
着任時期 平成22年10月1日以降 (可能な限り早期)  
提出書類 履歴書 (署名または捺印, 連絡先にはE-mailアドレスおよび携帯電話番号等も記載), 研究業績リスト (特許登録・出願状況等を含む), 研究業績の説明および将来の研究計画, 企業や諸科学・技術分野の研究者との将来の共同研究の計画およびもしあれば共同研究の実績 (大学院生, 特に博士課程の学生の育成に関する抱負等も交え作成), 応募者について問い合わせのできる方3名の氏名・所属と連絡先, およびそのうち少なくとも1名からの推薦状 (ただし, 推薦状に関しては応募書類とは別便で推薦者の方が下記提出先に応募期限までにお送りいただいても結構です。電子メールやファックスによる推薦状は受け付けません), 主要論文別刷 (5編程度), その他必要と思われるもの・選考上参考になると考えられる資料  
応募締切 平成22年7月28日 (必着)  
送付先/照会先 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院数理学研究院 福本康秀 E-mail:yasuhide@math.kyushu-u.ac.jp  
「IMI准教授応募」と朱書し簡易書留  
\* E-mailによる応募は受け付けません。また応募書類は原則として返却いたしません。返却を希望される方は, 返送先住所を記して切手を貼った返却用封筒を同封してください

その他 【任期】なし  
応募書類により取得する個人情報, 本人事案件にのみ利用いたします。九州大学大学院数理学研究院では男女雇用機会均等法の精神を尊重しています  
詳細はWebページ (<http://www.math.kyushu-u.ac.jp/recruits/index>) をご覧ください

## ■鹿児島大学大学院理工学研究科

募集人員 教授 1名  
 所属 電気電子工学専攻  
 専門分野 情報通信, 信号処理  
 応募資格 電気電子工学分野で博士の学位を有し, 当該専門分野における研究業績があり, 学部・博士前期・後期課程の教育と研究指導を担当できる方  
 着任時期 決定後なるべく早い時期(遅くとも平成23年4月1日まで)  
 提出書類 履歴書, 審査調書(詳細は<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/><社会人, 一般の皆様へ>をご覧ください), 主要論文別刷(5編, コピー可), 参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先  
 応募締切 平成22年8月23日(必着)  
 送付先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学大学院理工学研究科 教員選考委員会(工学系事務課総務係気付) 選考委員長 川崎 洋 「教員応募書類」と朱書き書留  
 照会先 電気電子工学専攻 宮島廣美 E-mail:miya@eee.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8422  
 その他 詳細はWebページ(<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/saiyou/saiyou.htm>)をご覧ください

## ■鹿児島大学大学院理工学研究科

募集人員 教授 1名  
 所属 電気電子工学専攻  
 専門分野 無線通信システムのハードウェアを扱う分野  
 応募資格 電気電子工学分野で博士の学位を有し, 当該専門分野における研究業績があり, 学部・博士前期・後期課程の教育と研究指導を担当できる方  
 着任時期 決定後なるべく早い時期(遅くとも平成23年4月1日まで)  
 提出書類 履歴書, 審査調書(詳細は<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/><社会人, 一般の皆様へ>をご覧ください), 主要論文別刷(5編, コピー可), 参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先  
 応募締切 平成22年8月23日(必着)  
 送付先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学大学院理工学研究科 教員選考委員会(工学系事務課総務係気付) 選考委員長 本間俊雄 「教員応募書類」と朱書き書留  
 照会先 電気電子工学専攻 宮島廣美 E-mail:miya@eee.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8422  
 その他 詳細はWebページ(<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/saiyou/saiyou.htm>)をご覧ください

## ■慶應義塾大学理工学部

募集人員 准教授または専任講師または助教(有期) 1名  
 所属 学部はシステムデザイン工学科, 大学院は理工学研究科総合デザイン工学専攻(システム統合工学分野)  
 専門分野 信号処理/センサ情報処理の先進分野で, ハードウェアを意識した要素技術の融合やシステム統合的視点に立ち, システムデザイン工学分野の教育・研究に関心と意欲を持っておられる方  
 教育研究 上記専門分野(学部・大学院)に関する教育・研究, ならびに, 信号処理, 電気回路, 電気系基礎科目などの講義, 実験を担当できる方  
 応募資格 博士学位取得者または着任までに取得見込みの方. 教育担当に必要な日本語能力が十分な方  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 履歴書(様式自由), 研究業績リスト(原著論文, 著書, 解説, 国際学会発表, 国内学会発表, その他に分けること), 論文別刷(コピー可), これまでの研究概要と着任後の抱負(1500字程度), 連絡先(電話番号(勤務先, 携帯), E-mail)  
 応募締切 平成22年8月23日(必着)  
 送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 主任 長坂雄次  
 E-mail:nagasaka@sd.keio.ac.jp Tel(045)566-1735 「教員応募(信号処理/センサ情報処理の先進分野)書類在中」と朱書き書留  
 その他 【任期】助教(有期)の場合は単年度契約とし, 双方の合意に基づき契約更新を行う. 最長雇用期間は3年間までとする

## ■芝浦工業大学工学部通信情報学群情報工学科

- 募集人員 教授または准教授 1名 (業績等により助教となる場合もある。助教は任期3年、その後審査により1年ずつ最長で通算5年まで延長可能。ただし審査に合格すれば准教授への昇格有り)
- 専門分野 ソフトウェア工学
- 担当科目 ソフトウェア工学、プロジェクト管理工学、システムプログラミングなどの講義科目のほか、ソフトウェア開発に関する演習科目や卒業研究など
- 応募資格 専門分野の業績があり、博士の学位を有する方、大学院の教育・研究を担当できる方、情報工学の基礎系に造詣が深く、また、応用分野も担当できる方
- 着任時期 平成23年4月1日
- 提出書類 履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、研究業績リスト\*、主要論文別刷(最近のもの5編以内でなるべく多く、コピー可)、教育に対する抱負(A4用紙2枚以内)、研究に対する抱負(A4用紙2枚以内)、推薦書  
\*研究業績リストは次の要領で記述することをお願いします。1) 査読付き論文とその他の論文を区別する。2) すべての著者名を記載する。3) 年号は西暦で表示し、最新のものから順に番号を付し、番号順に記載する
- 応募締切 平成22年8月25日(必着)
- 送付先/照会先 〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 芝浦工業大学工学部通信情報学群情報工学科 主任 五十嵐治一  
E-mail:arashi50@sic.shibaura-it.ac.jp Tel(03)5859-8524  
「教員公募書類在中」と朱書き書留
- その他 【勤務地】豊洲キャンパス(東京都江東区豊洲3-7-5)。ただし、一部の授業については大宮キャンパス(埼玉県さいたま市見沼区深作307)【選考方法】一次選考：書類審査、二次選考：面接

## ■群馬工業高等専門学校電子情報工学科

- 募集人員 助教 1名
- 専門分野 情報工学
- 担当科目 情報工学関連科目ならびに工学実験を担当できる方
- 応募資格 博士の学位を有し、教育・研究、および学生の指導に熱意をもって当たられる方、科研費等外部研究資金獲得に意欲のある方
- 着任時期 平成22年10月1日
- 提出書類 履歴書(市販の書式を用いE-mailアドレス記入)、研究業績リスト(レフリー付き論文・国際会議発表・著書・その他に分類のこと)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、これまでの研究概要(A4用紙1000字程度)、着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙2000字程度)、推薦書1通
- 応募締切 平成22年8月27日(必着)
- 送付先 〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580 群馬工業高等専門学校総務課人事・労務係  
「電子情報工学科 教員応募書類」と朱書き簡易書留 \*応募書類は原則として返却いたしません
- 照会先 電子情報工学科長 鶴見 智 E-mail:tsurumi@ice.gunma-ct.ac.jp Tel(027)254-9282 (ダイヤルイン)
- その他 Webページ (<http://www.gunma-ct.ac.jp/>)をご覧ください

## ■慶應義塾大学理工学部情報工学科

- 募集人員 専任講師または准教授 2名
- 専門分野 1)実世界を指向したメディア・インタラクションに関連する分野を研究対象としていること  
2) コンピュータサイエンス分野、特にコア領域に軸足を置きつつ、Web Computing, Data Intensive Computing, Dependable Computing, Cloud Computing などのネットワークを基盤とした先進的な分散処理に関する分野を研究対象としていること
- 応募資格 博士の学位を有し、最近の研究業績が顕著であり専門分野について理論と実践に渡って研究・教育でき、独立して研究室を運営でき熱意を持って学生の指導を行える若手の方
- 着任時期 平成23年4月1日
- 提出書類 履歴書(市販のものでも可)、業績リスト(著書、原著論文、国際会議、国内口頭発表、特許、その他自己アピールできる顕著な業績を分けて記すこと)、推薦書2通(様式自由)、これまでの研究概要(2000字程度、様式自由)、将来の研究と教育の抱負(2000字程度、様式自由) \*応募書類は返却いたしません
- 応募締切 平成22年8月27日(必着)
- 送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部情報工学科 主任 岡田謙一  
E-mail:okada@z2.keio.jp Tel(045)566-1746 Fax(045)566-1747  
「教員(専任講師)応募書類在中」、または「教員(准教授)応募書類在中」と朱書き書留

## ■慶應義塾大学理工学部情報工学科

募集人員 助教(有期, 最長3年) 1名  
 専門分野 情報工学分野  
 応募資格 博士の学位を有し, 最近の研究業績が顕著であり専門分野について理論と実践に渡って研究・教育でき, ネットワークやサーバの管理・運用ができる方  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 履歴書(市販のもので可), 業績リスト(著書, 原著論文, 国際会議, 国内口頭発表, 特許, その他自己アピールできる顕著な業績を分けて記すこと), 推薦書2通(様式自由), これまでの研究概要(2000字程度, 様式自由), 将来の研究と教育の抱負(2000字程度, 様式自由) \*応募書類は返却いたしません  
 応募締切 平成22年8月27日(必着)  
 送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部情報工学科 主任 岡田謙一  
 E-mail:okada@z2.keio.jp Tel(045)566-1746 Fax(045)566-1747 「教員(助教)応募書類在中」と朱書き書留

## ■愛知工科大学工学部情報メディア学科

募集人員 教授または准教授 1名  
 専門分野 ネットワーク・コンピュータ関連分野(コンピュータネットワーク, 情報通信など)  
 担当科目 学部:専門教育科目のコンピュータネットワーク, 情報通信, 情報基礎論などに関連する講義ならびに実験・演習および研究指導  
 大学院:コンピュータネットワーク特論, 情報システム特論などの講義および研究指導。なお, 学部の基礎教育科目の講義もお願いする場合があります  
 応募資格 博士の学位を取得済みの方。私立大学の教育研究に理解があり, 学業以外の学生指導にも熱意のある方  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 履歴書, 業績調書(著書, 学術論文, 国際会議論文, 特許, その他に分類し, 単著・共著の別を明記すること), 主な業績(5編以内, コピー可), およびそれぞれの要旨(400字以内), 各種研究助成金の取得状況, 教育および研究に関する抱負(約2000字), 可能であれば推薦書あるいは意見を伺える方の氏名と連絡先  
 応募締切 平成22年8月31日(必着)  
 送付先/照会先 〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2 愛知工科大学工学部情報メディア学科 学科長 小塚一宏  
 E-mail:kozuka@aut.ac.jp Tel(0533)68-1135 「情報メディア学科応募書類在中」と朱書 \*提出書類は原則として返却しません  
 その他 書類選考の上, 選考された候補者には面接(プレゼンテーションを含む)を実施します。提出書類に含まれる個人情報は, 選考および採用以外の目的には使用しません

## ■近畿大学理工学部情報学科

募集人員 講師または准教授 1名  
 専門分野 情報メディア  
 担当科目 コミュニケーション論, 認知科学, 暗号と情報セキュリティ等を含む情報分野の応用ならびに基礎科目  
 応募資格 博士(またはPh.D)の学位を有する方, 心身が健康であり教育・研究に熱心な方, 大学院担当教員として十分な研究業績を有する方, 大学の管理・運営に対して十分な能力と熱意のある方  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 履歴書(本学部所定の様式), 研究業績集計表(本学部所定の様式), 研究業績書(本学部所定の様式または任意の書式), 研究概要(A4用紙2000字以内, 任意の書式), 主要論文別刷(5編, コピー可), 本学における今後の教育・研究に対する抱負(A4用紙2000字以内, 任意の書式), 推薦書(自薦も可), 当方から応募者に関する問合せ可能な複数の方の連絡先, 連絡先(電話番号, E-mailアドレス)  
 応募締切 平成22年8月31日(必着)  
 送付先/照会先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学理工学部情報学科 学科長 田川聖治  
 E-mail:tagawa@info.kindai.ac.jp Tel(06)6721-2332 (ext.5419)  
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*提出書類は原則として返却いたしません  
 その他 本学部所定の様式は, Webページ(<http://www.kindai.ac.jp/about/saiyo/>)からダウンロードできます  
 改めて健康診断書をお願いする場合があります

## ■近畿大学理工学部電気電子工学科

- 募集人員 教授または准教授、講師 1名  
 専門分野 通信システム工学  
 担当科目 移動体通信工学、通信方式、電磁波工学、アナログ電子回路  
 応募資格 博士（またはPh.D）の学位を有する方、心身が健康であり、教育・研究に熱心な方、大学院担当教員として十分な研究業績を有する方、大学の管理・運営に対して十分な能力と熱意のある方  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 履歴書（電話番号、E-mailアドレス）\*、研究業績集計表（著書、学術論文、国際会議録、講演発表論文、特許などの業績）\*、研究業績リスト\*、これまでの研究概要（A4用紙2000字以内、任意の書式）、主要論文別刷（5編、コピー可）、本学における今後の教育・研究に対する抱負（A4用紙2000字以内、任意の書式）、推薦書（自薦も可）、または当方から応募者に関する問合せ可能な複数の方の連絡先 \*本学部所定の様式  
 応募締切 平成22年8月31日（必着）  
 送付先/照会先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学理工学部電気電子学科 神戸尚志 E-mail:tkambe@ele.kindai.ac.jp  
 Tel(06)6721-2332 (ext.4323) Fax(06)6727-4301 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*応募書類は原則として返却しません  
 その他 【選考方法】第1次選考:書類審査（結果は10月中旬に本人宛通知します）、第2次選考:面接およびセミナーを実施します（選考日は、本人宛に通知します）。ご応募いただきました情報は、本学の採用に関するデータとして利用し、その他の目的には利用いたしません。改めて健康診断書などの提出書類をお願いする場合があります  
 詳細はWebページ（[http://www.kindai.ac.jp/about/saiyo/sci/07\\_ele.html](http://www.kindai.ac.jp/about/saiyo/sci/07_ele.html)）をご覧ください

## ■駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部

- 募集人員 講師、准教授または教授 1名  
 専門分野 インターネット技術とその応用、Web技術とその応用  
 担当科目（予定） 情報リテラシー、情報リテラシー実習、メディアと情報、教育環境とメディア、Webコンテンツ、メディアと知識論、演習  
 応募資格 応募時点で博士号（Ph.Dを含む）を有するか、またはこれと同等の研究業績を有する方、ITの分野において専門的な研究業績を有するとともに、メディア一般に関する学際的な教育・研究に意欲がある方、上記の担当予定科目のすべてを担当できる方  
 \*日本語で授業ができることに加えて、英語でのコミュニケーション能力を有することが望ましい  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 (1)志望理由書・教育研究の抱負。書式は自由とし、2500字程度にまとめたもの  
 (2)本学部所定の様式による履歴書。様式はWebページ（<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/jinji>）からダウンロードできます  
 (3)博士号保持者は、博士学位記のコピーまたはそれを証明する文書（博士号を保持しない場合は最終学歴の証明書）  
 (4)研究業績リスト（主要業績5点に○印を付けてください）  
 次の(a)～(d)に分類した全リスト。ただし、(a)、(b)については全著者名、タイトル、雑誌、巻号、発行年、ページを記載してください  
 (a)査読付き研究論文（学術誌等に掲載済みのもの）、(b)査読なし研究論文、(c)専門著書、(d)前記(c)以外の著書  
 (e)その他（総合報告、研究ノート等）  
 (5)(4)に記載する業績のうち主要なもの3点以上5点以内の現物または別刷（コピー可）を各3部。ただし、上記(4)の(a)、(b)、(c)のうちから選択してください  
 応募締切 平成22年8月31日（必着）  
 送付先 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部長 福家秀紀  
 「専任教員応募書類在中」と朱書き書留 \*提出書類は原則として返却いたしません  
 照会先 グローバル・メディア・スタディーズ学部事務室 Tel(03)3418-9535  
 その他 詳細はWebページ（<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/news/20100528gms>）をご参照ください

## ■東京情報大学総合情報学部情報システム学科

- 募集人員 (1)准教授または助教（任期制）1名、(2)准教授または助教（任期制）1名、(3)嘱託助教 1名  
 専門分野 (1)仮想化システム・分散処理分野、(2)次世代ネットワーク分野、(3)ソフトウェア工学分野  
 応募資格 博士の学位を有し、企業等における情報システムの開発やネットワーク関連業務の経験、大学における情報系科目の教育経験がある方、学生への教育研究指導に対して、熱意があり積極的である方  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要研究業績別刷（コピー可）、これまでの研究・教育概要、今後の教育・研究に対する抱負、応募者について照会可能な2名の方の氏名および連絡先  
 応募締切 平成22年9月21日（必着）  
 照会先 情報システム学科長 布広永示 E-mail:nunohiro@rsch.tuis.ac.jp Tel/Fax(043)236-1292  
 その他 詳細については、Webページ（<http://www.tuis.ac.jp/university/292.html>）をご覧ください

## ■名古屋大学大学院情報科学研究科

- 募集人員 准教授 1名  
 所属 情報システム学専攻ソフトウェア論講座  
 専門分野 プログラミング言語（特に、並行性・分散性・実時間性を持ち、振舞いに対して高い信頼性が要求されるプログラムの記述を対象とする）に関する理論および理論に基づくプログラム解析技術（意味論、型理論、計算モデル、プロセス代数、プログラム検証、プログラムの実時間性解析など）  
 応募資格 博士の学位を有する方  
 着任時期 平成23年4月1日までのできるだけ早い時期  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（著書、学術論文誌、国際会議などを区分して記述）、主要論文別刷（3編以内、コピー可）、これまでの研究概要（A4用紙2枚以内）、今後の研究計画（A4用紙1枚以内）、教育についての抱負（A4用紙1枚以内）、その他選考に役立つ情報（教育実績、学会および社会活動、獲得した外部資金、受賞、特許、ソフトウェア開発実績など）、応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先  
 応募締切 平成22年9月30日（必着）  
 送付先/照会先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 C3-1（631）名古屋大学大学院情報科学研究科 情報システム学専攻長 坂部俊樹  
 E-mail:dept-chair@iis.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3621 「情報システム学専攻教員(准教授)応募書類在中」と朱書き書留または持参  
 その他 詳細はWebページ (<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>) をご覧ください

## ■東京工芸大学工学部コンピュータ応用学科

- 募集人員 准教授、助教のいずれか 1名  
 専門分野 情報処理、信号処理、通信・ネットワーク、情報セキュリティ、情報システムあるいはその関連分野  
 担当科目 情報工学基礎科目および情報工学専門科目  
 応募資格 研究と教育に対する熱意と上記専門分野における高い研究能力を有し、専門分野で学部および大学院科目が担当できる方。着任時に博士の学位を取得していること  
 着任時期 平成23年4月1日  
 提出書類 履歴書（E-mail アドレス記入のこと）、学会活動や受賞歴などの業績書、主要著書、論文および特許等のリスト（共著者はすべて記載）、応募動機とこれからの教育・研究に対する抱負（書式自由1600字程度）、主要論文別刷（5編程度、コピー可）、照会可能な方2名の氏名と連絡先  
 応募締切 平成22年10月1日（必着）  
 送付先 〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583 東京工芸大学工学部コンピュータ応用学科 主任 木下照弘  
 「応募書類」と朱書き簡易書留 \*提出書類は返却いたしません  
 照会先 上記送付先またはE-mail:kinosita@cs.t-kougei.ac.jp Tel(046)242-4111  
 その他 任期制（5年後に再任にかかわる審査あり）  
 詳細はWebページ (<http://www.t-kougei.ac.jp/guide/recruitment/>) をご覧ください

情報処理学会は公益法人制度改革関連3法施行により平成20年12月1日付けで民法34条による社団法人から特例民法法人となりました。そしてこのたび内閣総理大臣菅直人氏により公益性のある一般社団法人への移行が認可され平成22年7月1日付けで登記されました。公益法人に関する改革が行われたのは、社団法人/財団法人の設立には主務官庁の許可が必要であったため、官僚が公益法人を天下り先として利用する可能性があるので主務官庁制を廃止し法人の設立と公益性の判断を分離し、旧法人から新法人への移行も厳しく審査するという、民による公益の増進を目指した高邁な精神に基づき、事業仕分けにも繋がるものでした。たまたまこの制度改革に巻き込まれたのが当会などの学術法人でありました。

企業においては、現在の事業から得られる利益を、今後伸ばしたい事業に投資し、事業の育成を行うのが当然です。ところが公益社団法人では公益目的事業ごとに収益がその実施に要する費用を超えてはならない(収支相償)という規定があります。当会はすべての事業が公益事業ですので、これを適用するとすべての事業の利益は0もしくはマイナスとなり、これでは法人として存続できないこととなります。なぜこのような一見非論理とも思える法律となったのでしょうか、それは当会のような学術法人をこの法律が対象としていないことに起因します。要はこの法律の基本的な対象は国等の補助金により事業を実施する法人であったのです。税金が主な収入源であれば収支相償の意味も明確になります。しかもこの法律はNPO法人や任意団体への道を閉ざしているため、法人を存続しようとすれば、何としても新法人に移行するしか道がないのでありました。

内閣府公益認定等委員会で当会の指導に当たられた担当官は、頭脳明晰且つルールにも自分にも大変厳しい方で、ソフトウェアに例えれば1ビットたりとも忽せにしない姿勢を貫き通しました。人間の作るソフトウェアにバグが尽きないのと同様、当会の作った定款案も担当官から見れば問題だらけで、法律との齟齬ばかりでなく「てにをは」の類まで山ほど指摘され、認可がいつとなるかまったく見通しは立たず、この1年半は語るも涙の苦勞でありました。ISO 9001(品質)やJABEEでも微細なルール違反を指摘する審査員がいるため、負のスパイラル現象が発生しているのによく似ているので、こうすることが日本人の特質ではないかと思ったりもします。当会のような零細学会で比較的眞面目に対応してきたところの微細な誤り指摘に多大なエネルギーを費消するより、巨悪の財団社団法人を詳細にチェックすることが正しい税金の使い道ではないかと思ひ担当官に「国民目線とありますが、どこが国民目線でしょうか」と聞くと暫し考えて「公益認定等委員会も国民と言えます」との回答には驚きました。

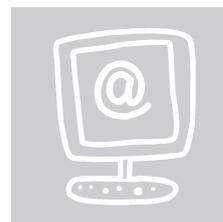
500日を超える審査期間に諦めることなく対応し続けてこれたのは、Winners never quit. Quitters never win. という格言のお陰です。認可までに首相も3人を数えました。

平成21年1月15日申請 麻生太郎首相

平成22年3月9日50周年記念全国大会祝辞 鳩山由紀夫衆議院議員

平成22年7月1日認可 菅直人首相

(湖東俊彦/事務局長)



### 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8371

# ご意見をお寄せください!

【8月10日頃までにお出してください】

宛先 (社)情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからでも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5107.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)  
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。  
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4- [ ]
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5- [ ]
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6- [ ]
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 ..... 7- [ ]
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ ..... 8- [ ]
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌およびWeb)に掲載される場合があります。その場合:  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9- [ ]
- (10) 今月号 (2010年7月号)の記事はお役に立ちましたか、下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

## 特集: 実世界インタフェースの新たな展開

1. アーキテクチャとインタラクションデザイン ..... 10-1- [ ]
2. 身体性に基づく実世界インタフェース ..... 10-2- [ ]
3. 集合知センシングによる実世界インタフェース ..... 10-3- [ ]
4. ソーシャルメディアと実世界 ..... 10-4- [ ]
5. テーブルトップインタフェース ..... 10-5- [ ]
6. 家庭のユビキタスコンピューティング ..... 10-6- [ ]
7. 日常生活のインタラクションデザイン ..... 10-7- [ ]
8. ウェアラブルインタフェース&センシング ..... 10-8- [ ]
9. エンタテインメントコンテンツと実世界インタフェース ..... 10-9- [ ]
10. 体験メディア: グループ活動の文脈に埋め込まれた実世界メディア ..... 10-10- [ ]

## 小特集: 未来を切り拓く最先端VLSIテクノロジー

1. メディア処理における超低消費電力 SoC 技術 ..... 10-11- [ ]
2. ソフトウェアとハードウェアの協調による組込みシステムの消費エネルギー最適化 ..... 10-12- [ ]
3. Power Wall 問題へのブレークスルーを目指して ..... 10-13- [ ]
4. 高性能・超低電力短距離ワイヤレス可動情報システムの創出 ..... 10-14- [ ]
- 古機巡礼/二進伝心: オーラルヒストリー 和田弘氏インタビュー ..... 10-15- [ ]
- 平成21年度論文賞の受賞論文紹介 ..... 10-16- [ ]
- 平成21年度長尾真記念特別賞紹介 ..... 10-17- [ ]
- 平成21年度喜安記念業績賞紹介 ..... 10-18- [ ]
- 研究会博士論文速報 ..... 10-19- [ ]
- "I" 見聞録: SIGGRAPH Asia 2009 ..... 10-20- [ ]

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕良かった記事 ..... 11-1- [ ]
- 〔11-2〕選んだ理由(下記から、いくつでも選択可) ..... 11-2- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他(具体的に下記にご記入ください)

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入)、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]
- 〔12-2〕選んだ理由(下記から、いくつでも選択可) ..... 12-2- [ ]
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
f) テーマに興味を持てなかった g) その他(下記に具体的に下記にご記入ください)

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。  
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

iPadの発売騒ぎがおさまらぬうちにiPhone 4が発表され、ここ数カ月アップルの存在感を見せつけられています。日本企業の対抗商品と比べてそれほどすごい技術ではなさそうに見えるアップル商品に予想以上の反響があるのは、ある種のアップルイリュージョンではないかと思えます。今回の特集の実世界インタフェースは、従来の効率、効用重視のインタフェースではなく、そのようなイリュージョンに通じる、直感、直観重視の、説明しにくいコンピュータ技術の側面を対象とするものです。実世界という点では対象は非常に具体的ですが、その良し悪しをどう判断するかという意味では曖昧模糊としたインスピレーションの世界です。これはおそらくコンピュータがいよいよ人間に近いところまでやってきたことを意味するのだらうと思えます。今回の特集は調整段階が大変

で、どこまで主観的に書いていただくか、あるいは専門的にすべきかという点で、ゲストエディタや編集長とともに、大いに悩みながらの編集作業でした。改めてこの分野の難しさを感じています。読者の皆さんにも、記事を読みながら必要となる基礎技術からビジネス展開まで、一緒に考えていただきたいと思えます。もしかしたらアップルを上回る新たなイリュージョンのヒントが見つかるかもしれません。Twitterでつぶやくのにお忙しいなか非常に面白く企画をまとめあげていただきましたゲストエディタの増井俊之氏、多くの要望にお応えいただき、無理のある執筆・スケジュールに従って、楽しい記事を書いてくださいました執筆者の皆様にお礼申し上げます。

(塚本昌彦／本特集エディタ)

私、本誌編集委員のほか、去る3月に開催された情報処理学会創立50周年記念全国大会のプログラム委員も仰せつかりまして、イベント企画を1つ立案しなければならませんでした。そこで、JST CRESTの研究領域「情報システムの超低消費電力化を目指した技術革新と統合化技術」の各課題の代表の先生方に研究の内容をご紹介いただくことにしました。そうしたのには、領域総括の南谷崇先生に話を持ち掛けさえすればよいという、まっとうでない理由があったことは否めません。領域総括としては発表の機会は渡りに船でしょうし、総括から講演を依頼されれば各課題の代表者は断れないでしょう。

今回の小特集「未来を切り拓く最先端 VLSI テクノロジー」は、こ

のイベント企画の講演者のみなさまに講演と同じ内容をご執筆いただいたものです。やはりまず南谷先生にお願いしましたので、執筆者のみなさまには二つ返事で引き受けいただけました。

講演者=執筆者のみなさまには微妙に恨まれているような気もしますが、講演には講演の、文章には文章の良さがそれぞれありますので、CRESTと聴講者・読者の双方にとって、よい企画=小特集になったのではないかと思います。同じ手は、CRESTの別の領域—たとえば「デバイスダブル VLSI システムの基盤技術」にも使えるなあと思いつつ、その場合執筆の仕事（の一部）が自分に巡ってくる危険があるので慎重さが求められます。

(五島正裕／本小特集エディタ)

### 次号 (8月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

#### 「特集」エネルギーの情報化—エネルギー技術と通信技術の統合を目指して—

エネルギーの情報化とは／スマートタップの共通仕様化に向けて／電力エネルギーのパケット化と電力ルータ／オンデマンド型家庭内電力ネットワークのための QoEn (エネルギー品質) を考慮した経路制御／ホームネットワーク (OSGI, ECHONET) モデルに基づく家庭内エネルギーマネージメント／DC エコハウスの開発／エネルギーを意識した社会実現に向けた経済モデル／国際標準化、国際的研究開発の動向

#### 「ミニ特集」コンピュータ将棋の不遜な挑戦

挑戦状を渡すまで／コンピュータ将棋の最近の動向／選手権優勝記／大規模クラスタシステムでの実行／プロ棋士から見た選手権 2010／最強将棋ソフト「激指」との戦いに学ぶ／プロとコンピュータ将棋

解説：OpenFlow の最新動向…………… 西原基夫 他  
 素因数分解技術の進展—RSA-768 の分解達成への道のり— …………… 青木和麻呂  
 崩壊する周産期医療を救う IT—分娩監視技術の開発から IT による遠隔医療の全国展開まで—…………… 原 量宏  
 トピックス：情報技術の国際標準化と日本の対応 …………… 情報規格調査会  
 連載：記述の科学／研究会推薦博士論文速報  
 コラム：「I」見聞録

#### 複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。  
 Copyright Clearance Center, Inc.  
 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
 Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

#### Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人 情報処理学会  
 発行部数 25,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 51巻7号 掲載広告(五十音順)

- オー・ティ・ビー.....前付最終上      日立製作所.....表4  
オーム社.....表2対向      兵庫教育大学.....前付最終下

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は  
**広告総代理店 アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

**MITSUBISHI**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社NTTデータ  
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

**NTT**

日本電信電話 (株)

**Microsoft**

マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア  
NTT コムウェア (株)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**楽R天**

楽天 (株)



Fusic Co., Ltd.  
(株) Fusic

**ilovex**

(株) アイロベックス

**INFOJAM**

(株) インフォジャム

**uejima**

(株) うえじま企画

**SONY**

ソニー (株)

コトバウチュウ

(株) ニューズウォッチ

**Panasonic**  
ideas for life

パナソニック (株)

### ●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー  
(株)



三協印刷 (株)



三美印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



東北電力 (株)



(株) ナレッジクリエーション  
テクノロジー



日本放送協会放送技術研究所

インテル (株)

【A～Z】	オークマ(株)	(社)情報サービス産業協会	【な行】
(株) CIJ CRIMSON INTERACTIVE PVT. LTD. (株) CSK システムズ (株) CSP フロンティア研究所 (株) Fusic (株) HBA	(株) 大塚商会 (株) オーム社 沖ソフトウェア(株) 沖通信システム(株) 沖電気工業(株) (株) 小野仁 オムロン(株)	(独) 情報処理推進機構 (独) 情報通信研究機構 新日鉄ソリューションズ(株) (株) 数理計画 住友電気工業(株) 3Di(株) (株) セイノー情報サービス セコム(株) (株) 全農ビジネスサポート (株) 創夢 ソニー(株) ソニーグローバルソリューショ ンズ(株) (株) ソフトウェアコントロール (財) ソフトウェア情報センターソフ トウェア特許情報センター ソラン(株)	(株) ナレッジクリエーションテクノ ロジー (株) ニコンシステム 日鉄日立システムエンジニアリング (株) 日本アルゴリズム(株) (株) 日本情報システムサービス 日本電気(株) (株) 日本電気特許技術情報セン ター
Intellectual Ventures Japan 合同会社 JRC エンジニアリング(株) (株) KDDI 研究所 MHI エアロスペースシステムズ(株) NEC システムテクノロジー(株) (株) NEC 情報システムズ NEC ソフト(株) NEC ソフトウェア東北(株) NEC フィールドイング(株) NTT アドバンステクノロジー(株) NTT コムウェア(株) NTT ソフトウェア(株) (株) NTT データ (株) NTT データ・アイ (株) NTT データ CCS (株) NTT データ 関西 (株) NTT データ九州 (株) NTT データ中国 (株) NTT データ 東海 (株) NTT データ 東北 (株) NTT ドコモ NTT 横須賀研究開発センタ (株) PFU TIS(株)	【か行】	(株) 創夢 ソニー(株) ソニーグローバルソリューショ ンズ(株) (株) ソフトウェアコントロール (財) ソフトウェア情報センターソフ トウェア特許情報センター ソラン(株)	(株) 日本電気特許技術情報セン ター 日本アイ・ピー・エム(株) (社) 日本化学会 日本銀行 日本原子力研究開発機構 日本証券テクノロジー(株) 日本信号(株) 日本電子計算(株) 日本電信電話(株) (株) 日本トラフィックコンピュー ターセンター (財) 日本品質保証機構 日本放送協会 放送技術研究所 日本無線(株) 日本ユニシス(株) (株) 日本旅行 (株) ニューズウォッチ (株) ニューメディア総研 (株) ネプロジャパン (株) 野村総合研究所
【あ行】	(独) 科学技術振興機構 (財) 画像情報教育振興協会 (学) 片柳学園日本工学院専門学校 (学) 片柳学園日本工学院八王子 専門学校 関西電力(株) 関電システムソリューションズ(株) (財) 機械振興協会 キヤノン(株) キヤノン(株) 技術資料センター キヤノン IT ソリューションズ(株) キヤノンソフトウェア(株) (財) 九州先端科学技術研究所 九州電力(株) 共立出版(株) (株) 近代科学社 グーグル(株) 原電情報システム(株) (株) コア 中四国カンパニー (株) 構造計画研究所 (株) 高知電子計算センター 国土館大学情報科学センター (独) 国立印刷局研究所 国立国会図書館 コニカミノルタテクノロジーセン ター(株) (株) コミュニチュア コムシス情報システム(株)	【た行】	【は行】
アートシステム(株) アイアンドエルソフトウェア(株) (株) アイヴィス (株) アイ・エス・ピー アイシン・インフォテックス(株) アイシン精機(株) (株) アイズファクトリー (株) アイロベックス (株) アドバンス・メディア (株) アルファシステムズ 池上通信機(株) 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 岩崎通信機(株) (株) インテック (株) インテックシステム研究所 インテル(株) インフォサイエンス(株) (株) インフォジャム (株) ヴァル研究所 (株) うえじま企画 (株) エクサ (株) エス・エフ・シー (株) エスケーエレクトロニクス (株) エヌジェーケー エヌ・ディー・オール(株) (株) エルザジャパン	【さ行】	拓殖大学 中国電力(株) (株) 中電シーティーアイ 中部電力(株) 中部日本電気ソフトウェア(株) 通研電気工業(株) ティーディーシーソフトウェアエン 지니어リング(株) テービーテック(株) デジタルプロセス(株) 鉄道情報システム(株) (財) 鉄道総合技術研究所 (株) テブコシステムズ (社) 電子情報技術産業協会 (株) デンソー (株) デンソーアイティラボラトリ (株) デンソークリエイト (株) 電通国際情報サービス (財) 電力中央研究所 東海ソフト(株) 東海旅客鉄道(株) 東京電力(株) 東光(株) (株) 東芝 東芝システムテクノロジー(株) 東芝情報システム(株) 東芝ソリューション(株) 東芝テック(株) 東芝マイクロエレクトロニクス(株) 東芝メディカルシステムズ(株) 東邦ガス情報システム(株) 東北電力(株) (株) 東和システム 特許庁 トッパン・フォームズ(株) (株) トヨタコミュニケーションシ テム トヨタ自動車(株) (株) 豊田中央研究所	(財) 日本品質保証機構 日本放送協会 放送技術研究所 日本無線(株) 日本ユニシス(株) (株) 日本旅行 (株) ニューズウォッチ (株) ニューメディア総研 (株) ネプロジャパン (株) 野村総合研究所  (株) ハイエレコン バイオニア(株) 研究開発部 バイオニア(株) 技術生産センター 技術部 萩原電気(株) (株) 博報堂 DY ホールディングス パナソニック(株) パナソニック(株) AVC ネットワー クス社 パナソニック システムネットワー ク(株) パナソニック モバイルコミュニ ケーションズ(株) パナソニック MCE(株) パナソニック 電工(株) (株) ハピネット (株) ピーコン インフォメーション テクノロジー 日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株) (株) 日立アドバンスデジタル (株) 日立国際電気 (株) 日立情報システムズ (株) 日立情報制御ソリューション ズ (株) 日立製作所 システム開発研 究所 (株) 日立製作所 情報・通信シ ステム社

(株)日立製作所 中央研究所  
 (株)日立製作所 中国支社  
 (株)日立製作所 東北支社  
 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)  
 (株)日立中国ソリューションズ  
 (株)日立テクニカルコミュニケーションズ  
 日立電子サービス(株)  
 (株)日立東日本ソリューションズ  
 (株)ファースト  
 (株)フォーカスシステムズ  
 (株)フォーラムエイト  
 (株)フジキカイ 名古屋工場  
 富士通(株)  
 (株)富士通アドバンスドエンジニアリング  
 (株)富士通エフサス  
 (株)富士通九州システムズ  
 (株)富士通四国システムズ

(株)富士通ソーシャルサイエンス  
 ラボラトリ  
 (株)富士通中国システムズ  
 (株)富士通中部システムズ  
 富士通テン(株)  
 (株)富士通東北システムズ  
 (株)富士通長野システムエンジニアリング  
 (株)富士通北陸システムズ  
 フジテック(株)  
 富士電機システムズ(株)  
 富士フィルム(株)  
 船井電機(株)  
 フューチャーアーキテクト(株)  
 ブラザー工業(株)  
 古野電気(株)  
 北陸電力(株)  
 (株)堀場製作所  
 (株)本田技術研究所

【ま行】

(株)マイクロアド  
 マイクロソフト(株)  
 マツダ(株)  
 三井情報(株)  
 (株)ミックナイン  
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)  
 三菱スペース・ソフトウェア(株)  
 (株)三菱総合研究所  
 三菱電機(株)  
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)  
 三菱電機コントロールソフトウェア(株)  
 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)  
 三菱プレジジョン(株)

武蔵野美術大学  
 (株)メイテツコム

【や行】

ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所  
 ヤマハ(株)  
 横河電機(株)

【ら行】

楽天(株)  
 リードエグジビジョンジャパン(株)  
 (株)リコー  
 (株)リンクレア

ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

# 会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

## 協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により，正会員会費が割引になります。ぜひ，ご活用ください。  
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については，海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき，直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は，次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。  
 正会員会費割引申請フォーム (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)  
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。  
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) ([https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai\\_sei.html](https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html)) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375